

令和2年度 第3回 鳥取市生活交通会議  
議事要旨

1. 日時 令和3年1月13日(水) 15:00~16:30

2. 場所 鳥取市民交流棟2階 多目的室1

3. 出席者 (下記のとおり)

○会長	[学識経験者]	鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授	谷本圭志
○副会長	[都市整備部]	市都市整備部部长	谷口浩章
○委員	[住民・利用者]	市小学校PTA連合会	内田浩二
		市自治会連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	中村克彦
		〃 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西川功美
		市老人クラブ連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	能見恵子
		〃 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西尾寛茂
		市連合婦人会	油谷都々江
	[NPO法人]	社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会常務理事	田中節哉
	[事業者]	日ノ丸自動車株式会社 営業課 課長	稲村雄一
		日本交通株式会社 バス営業課 課長	山本高広
		西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長	藤田守
	[事業者団体]	鳥取県ハイヤータクシー協会 副会長	岡周一
	[事業者労組]	私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部執行委員 鳥取分会執行委員長	中村和博
	[鳥取市]	市福祉部長	竹間恭子
	[中国運輸局]	鳥取運輸局首席運輸企画専門官	久保博嗣
	[警察]	鳥取警察署 交通第一課長	佐々木秀人
	[鳥取県]	鳥取県地域づくり推進部交通政策課長	西川泰介

○事務局 鳥取市都市整備部交通政策課 (湯谷、筒井、有本 泉、有本淳哉、井殿)

#### 4. 次 第

- 1) 開会
- 2) 報告事項
  - ・令和2年度 第2回鳥取市生活交通会議書面決議結果について
- 3) 会長挨拶
- 4) 議事
  - 【議案1】大和ふれあいタクシー更新登録について
  - 【議案2】国英地区共助交通運行開始について
    - ・国英地区共助交通運行開始に伴う市有償バス「和奈見国英線」の一部廃止について
  - 【議案3】地域公共交通確保維持事業に関する事業評価について
  - 【議案4】100円循環バス「くる梨」利用実態調査結果と今後の対応方針について
- 5) その他
  - ①「道路交通法一部改正による自家用有償運送の4条乗合事業者のバス停共用」について
  - ②日本交通(株)タクシーハイヤー浜村営業所の廃止について
  - ③その他
- 6) 閉 会

#### 5. 議 事 概 要

(報告事項) 令和2年度 第2回鳥取市生活交通会議書面決議結果について  
令和2年8月5日付けで実施した「第2回鳥取市生活交通会議」の書面決議の結果を報告

→事務局が資料1に基づき結果について報告した。

##### 【議案1】大和ふれあいタクシー更新登録について

平成31年4月1日より運行されている共助交通である「大和ふれあいタクシー」について、令和3年4月1日以降も引き続き運行を行う内容について協議。

→大和地区まちづくり協議会が資料2に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【委員】 令和2年乗客増の要因は。

【事務局】 横枕児童が10月より学校帰りを利用し始めたため。

【会長】 運行実績の「大人」「児童」は個人を示しているのか。

【事務局】 「大人A」は特定の個人。「大人B」はその他の不特定利用者。「横枕児童A」は特定の

個人。「横枕B」は複数の児童である。

### 【議案2】国英地区共助交通運行開始について

令和3年4月より運行開始される「国英地区共助交通」について、運行を行う内容について協議。

→いきいき国英ふるさとづくり協議会が資料3に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【委員】 今後NPOの立ち上げは4月運行開始までに行えるのか。

【事務局】 時期的に4月運行開始に合わせるの難しいので早くて令和4年4月となる。

【委員】 事業の運営主体が異なるため事業を廃止しNPOとして新規登録申請となる。登録にあたって、「路線」「区域」とあるが「路線」でよいか。

幼児は無料であるか。通学定期について登校日数は任意で設定なのか。

【事務局】 「路線」運行である。幼児は無料で同伴の大人は大人料金である。市有償運送についても登校日数でおこなっていることを参考にしている。登校日数については学校に確認を行う。

【会長】 試験運行を行って利用者等の反応とかはどうだったか。

【事務局】 町内にあるスーパー「エスマート」へ連れ立って買物に行けると評判もよかった。

「河原口」まで利用し市立病院へ通院した方もあった。12便/日走行、約10人/日の利用があった。

### （報告事項）国英地区共助交通運行開始に伴う市有償バス「和奈見国英線」に一部廃止について

令和3年4月より運行開始される「国英地区共助交通」に伴い、重複する路線の一部を廃止することを報告。

→事務局が資料4に基づき結果について報告した。

### 【議案3】地域公共交通確保維持事業に関する事業評価について

国庫補助を受けている路線（米里線・雨滝上地線）の、令和2年度の事業評価について協議。

人口減少・高齢化、都市部への人口流失等のバス利用者の減少を加味し、直近実績の維持を目標として設定しており、事業実施適切性についてはA（計画通り事業は適切に実施された）、目標・効果達成状況についてはB（事業が計画に位置付けられた目標・効果を達成できていない点があった）と評価。

→事務局が資料5に基づき説明し、合意された。

(質問・意見)

【委員】 米里線の実績減についての要因はコロナが考えられるか。

【事務局】 実利用者5名程度のうち、1名が高校生であり令和2年3月で卒業されたための実績減である。この地域は、路線バス等廃止の可能性があるため、昨年より地元と代替交通についての検討を行っている。共助交通も選択肢として導入の検討を進めている。米里線の乗合タクシーにおいても、「鳥取市生活交通の見直し基準」を基に検討していく。

【会長】 いきなり「共助交通」ではなく、タクシー事業者との連携を検討してみては。

【事務局】 沿線を営業地域としているタクシー事業者はある。地元ともタクシー事業者との連携ということも一つの選択肢として考えている。

【委員】 雨滝上地線について目標は達成しているため「B」評価でなくてもよいのでは。

【事務局】 前年度を下回ったことにより「B」評価とした。委員の方の意見により修正は可能であるため「目標達成」ということで「A」評価とすることもできる。

【委員】 評価の変更ではなく、利用者等に努力の成果をお知らせすることができるのではないか。地域として盛り上げていく必要がある。

【会長】 本年度の評価については「B」とし、来年以降は継続的に努力し「目標達成」等の評価は行うようにする。

#### 【議案4】100円循環バス「くる梨」利用実態調査結果と今後の対応方針について

令和元年10月1日より、赤・青・緑すべての路線を見直し、新ルートでの実証運行を開始した100円循環バス「くる梨」の利用実態調査結果と今後の対応方針及び今後のスケジュールを報告。

→事務局が資料6に基づき報告した（協議については令和3年10月予定の本格運行に向け「新たなルート・ダイヤでの運行（案）」として令和3年3月予定）。

(質問・意見)

【会長】 運行事業者で運行状況が厳しい事とかあるか。

【事業者】 見直し（案）で調整可能である。

【事務局】 本日のみならず、見直しに対し意見等あれば交通政策課へ今月中にお願いします。

#### （その他）①「道路交通法一部改正による自家用有償運送の4条乗合事業者のバス停共用」について

バス停での自家用有償運送自動車が乗客を乗降する時は、改正前は「標識の設置」が必要であった。「関係者の合意」で使用が可能となる改正について報告。

→事務局が資料8に基づき結果について報告した。

(質問・意見)

【会長】 標識はバス停と同じものを作成するのか。

【事務局】 標識の別設置が必要なくなる。

【委員】 「合意書」の作成とは鳥取県警より通知があったものか。

【委員】 (鳥取県警)「合意書」は警察庁から示された様式で、連名については関係者となる。

(その他) ②日本交通㈱タクシーハイヤー浜村営業所の廃止について

令和2年12月18日に日本交通㈱タクシーハイヤー浜村営業所の廃止の報告があった。運転手2名で運行管理を行ってきた。この2名の人材確保が困難となった。また、新型コロナ感染症の影響で大幅な減収となった等の理由により令和3年3月31日をもって営業所の廃止を決定された。

営業エリアである気高町、鹿野町の住民への周知については日本交通㈱ホームページ掲載、利用者、旅館等については文書及び口頭での説明を予定。各支所についても住民への周知方法を現在検討している。

今後の対応として、青谷町「ニュー青谷タクシー」を利用していただくこととなるが、3名の運転手での運行、また、市有償運送バスの受託で多忙である。青谷町内でも高齢者利用が多い(通院、買物)。利用の多かった気高町の高齢者について、今までのように利用ができない状況となることが考えられる。また、青谷からの回送となると、運賃が割高になることも考えられる。

そのため、代替交通を地域の方と検討していく必要がある。1月19日に「気高町地域振興会議」で、今回の廃止の報告する予定である。

→事務局が口頭で報告した。

(その他) ③その他

【委員】 校区審議会より小中学校を今後10年間の再編を行うことが決まった。学校が再編されると、子供たちの通学の手段の確保が必要となる。路線バス等の利用ができる地域はよいが、その他の手段が必要となっていくところもある。学校の方でも考えていくが、このような生活交通会議等の場所で一緒に考えていただくことを要望する。

【会長】 事業者等に依頼しても運転手確保の問題もあり、すでに限界がきている。住民、事業者、等総動員で、今後の事を考えていく必要があるのではないか。

【事務局】 市としても、交通関係、校区審議会関係と一緒に考えていく必要がある。学校関係での会議でも今の現状をお伝えしていただきたい。